

# 生徒指導だより

～君たちは未来から「今」を託されている～

No.5 2014.9.3



## 夏の出来事をふり返ってみます



♪ ありの～ ままの～ (o^)/ ♪

夏の間、替え歌も含めて、あちらこちらでこの歌を聴きましたよ♪ 世界中の人々の心をとらえた映画『アナと雪の女王』のテーマは、ありのままの自分を受け入れ、自分らしい自分となって、自分の力を活用することだそうです。「これがありのままの自分やから、しゃーないやんっ!!」ではダメです。自分の力を活用していません。あきらめています。「みんながやっているから」「〇〇さんもそうやんか」のように、言動の根拠が‘他の人’では、個性とは言えませんから、ありのままの自分ではないですね。“本当になりたい自分”とはどんな人かをよぉ～く考えて、自分らしい自分の力を活用しましょう。

### 延長50回!?

スポーツの世界で、奇想天外な漫画でも見られないような、現実離れし過ぎの出来事がありました。野球はよくわからないという人でも、何だかすごい気がすると思えるかもしれません。

第59回全国高校軟式野球選手権大会の準決勝、岐阜の中京高校と広島の高徳高校の対戦は4日間延長50回の試合となりました。通常は一試合9回ですから、とんでもないことです。1日目延長15回0対0でサスペンデッド（一時停止）。2日目、ゲームを再開し、さらに15回を戦って30回0対0で再びサスペンデッド。そして3日目、



またまた15回を戦っても決着がつかず、45回を終えて0対0のまま。4日目の延長50回表、中京高校が3点を奪い、その裏を0点に抑え、精魂を尽くした戦いはついに終わりました。しかも、中京高校は準決勝終了直後、その日のうちに決勝戦に挑み、優勝しました。

この試合については、高校生にこんな酷なことをさせてよいのかといった批判もあるようですが、それは制度の問題なので大会主催者側に考えてもらうとして、約700球を一人で投げ抜いた両投手、50回を守ってエラー(失策)が中京1個、崇徳3個という、引き締まったゲームを繰り広げた高校生たちには大きな拍手を送りたいものです。

勝ちたいと一途に願いながら純粋に野球に打ち込む高校生たちのエネルギーには、私たちの想像を超えたものを作り出すパワーがあるということを教えてくれました。同じ世代のみなさんにも、この高校生たちに負けない底知れぬパワーが眠っているに違いないと信じています。

## 携帯電話・スマートフォンと学力

携帯電話やスマートフォンの使用時間と学力の間には関連性があるという報告が、新聞やニュースを賑わせました。

この春に平成26年度全国学力・学習状況調査が実施されました。本校も参加した学力テストです。そのテストとアンケートの結果によると、携帯電話やスマートフォンを長時間使用している人は、学力テストの正答率が低い傾向にあるということです。みなさんは、どうしてそういうことになると思いますか？



東和中学校のみなさんっ!! 携帯電話やスマートフォンを使用しているみなさんっ!!!! ぜひ一度、自分の使用の仕方、時間について振り返り、あらためましょう。「1日に使用する時間を決める」「午後10時を過ぎて使用しない」等、家族と相談してルールを決めるべきです。携帯電話やスマートフォンの使用時間を短縮することで、あなたの学力がアップするかもしれないのですから、絶対に実行するべきです!!